

発行：2011年4月5日/発行責任者：特定非営利活動法人 シャンティ山口 代表 角 直彦
連絡先事務局 〒753-0215 山口市大内矢田 717 佐伯昭夫 電話/Fax 083-927-4083
ホームページアドレス：<http://www.shanti-yamaguchi.com/>

イベント報告：多くの皆さんにお越しいただき 「笑顔をありがとう」 来年もよろしく！

自然と共に生きる自由の民「モンの人々」写真展



活動報告：18年の歩み・教育・伝統文化・高齢者福祉・女性自立・生活衛生・地域環境保全

*日本の農家の知恵「肥溜めと畑」をヒントに考案した、アジアで好評の「自然循環式ガス発生ecoトイレ」の模型も展示して地球環境保全の啓発活動も行っています。

～皆様のお越しをお待ちしています。～

開催期間：2月25日(金)～4月3日(日)

開館：午前11時～午後4時(休館日:毎週 水木曜日)

美祢市美東町 大正洞駐車場横

秋吉台フォトギャラリー事務局：〒753-0215 山口市大内矢田717 佐伯方

写創蔵

電話/Fax 083-927-4083

Email: saeki.teruo@cameo.plala.or.jp 特定非営利活動法人

後援：地球環境基金

今井記念海外協力基金
(財)山口県国際交流協会

Non Profit Organization

シャンティ山口

ご来蔵ありがとうございます。

シャンティ山口では、

当館「写創蔵」での活動報告・写真展も4回目を迎え、恒例行事となりました。初回から多くの皆さんに支えられご理解とご協力のおかげをもちまして現地の状況も明るい兆しが見えています。活動のご支援と励ましに感謝しております。

今回のテーマは、「地球環境と農村開発」

昨今の気象の異変に危惧し、遅ればせながら現地で地球環境保全の取り組みを強化しています。

タイ国の経済流通社会が支配する遺伝子組み換えトウモロコシの近代的農業にあえぎ、貧困と生活苦に追われている壊滅寸前の山岳民族「Hmong モン族」のホイプム村。生き残るため近代的農業に見切りをつけ、焼き畑の農地を伝統的に行っていた自然との共生農業に転換し、森の恵みによる持続可能な農業として生きることを住民の総意で決意しました。

当初は、生活基盤整備として、これまでシャンティ山口が開発してきた、生物多様性を駆使した「自然循環式多目的バイオトイレ」による集落排水施設の計画的設置と、生活衛生改善・保健衛生と地域環境知識の学習・地域の自然条件を活用したエネルギーの確保や、かんがい用水路の設置など行い、併行してアグロフォレストリーの調査と準備に着手し、先祖から引き継いだ焼き畑の農地を持続可能な農業への転換などの村ぐるみ開発に着手しています。

将来は、焼き畑の大地を緑豊かな農地として生活の自立と持続可能で安定した豊かな生活の向上を目指すと共に、環境保全型農業と循環型社会形成のモデルとして地域に波及することを目指しています。

現地の人たちとトイレ造りや、複合農業の推進をとおして共に学び、微弱ながら地球環境保全対策や、生活のお手伝いを実施しています。

モン族の文化は、日本と同じで行事や風習も、そのものや似通ったものが多く、生活の随所に見ることができます。「モン族」と日本人は、ルーツは同じであることがうなずけます。

モン族の暮らしは、自然の恵みに感謝しながら自然と共に生きています。

これからも「自然と共に生きる」ことが「モン族」の伝統文化を継承し豊かな明日が約束できると信じて暮らしていきます。

国境と民族を超えて ～共に生き・共に学ぶために～



自然と共に生きる自由の民「モンの人々」と共に歩んだ18年記録をとおして自分自身の生活や地球環境について考え、今を生きる私たちの責任として自分にできることから実践しませんか。

平成23年（2011年）2月25日

写真撮影者： 特定非営利活動法人シャンティ山口 事務局長 佐伯昭夫

主催者： 特定非営利活動法人シャンティ山口 代表理事 角直彦

「写創蔵」の様子





オープニング ごあいさつ



モン族民族衣装（女兒・男児）



内部の様子（手前は、自然循環式エコトイレの模型）



模型でエコ学習



シャンティ寮 学生の作品



地球環境基金助成活動報告



eco トイレの模型



遺伝子組み換えトウモロコシ 模型



参考図書・写真の閲覧



民芸・生活用品の展示



(学習中の坪谷純希君)

結果報告

シャンティ山口 佐伯 昭夫 写真展【2月25日(金)～4月3日(日)】
自然と共に生きる民「モンの人々」

サイズ パノラマ(5m×61cm)、A1、A3、W4、他 計 約150点

実日数 28日 来蔵者数 1,029名

月刊誌 日本カメラ、フォトコン、アサヒカメラ3月号の写真展スケジュールに掲載。

山口新聞に記事掲載。(4月2日(水))

yab(山口朝日放送)、夕方のニュースで放映。(3月25日(金))

バージョンアップした「自然循環式ガス発生ecoトイレ」の模型が、好評で、春休みということもあり、学生や家族連れも多く、興味深く、熱心に見ておられました。民族衣装の細かい手刺繍や小物、マンゴーの木で作ったカエルも人気で、ゆっくり楽しんでいられました。



世界中を震撼させた東北地方の大地震による大津波、そして、未だ見通しの立たない福島原発。一日も早い復興と人々の笑顔と元気が戻ってくることを切に願います。シャンティ山口では、宮城県、気仙沼社協合同で、支援活動が開始されています。また、シャンティ山口がタイで支援活動をしているホイプム村より佐伯さんに震災募金が届きました。

現金の縁が無い暮らしの中から、気持ちをとはいえ、大変なことです。

お知らせ

朝日放送「テレメンタリー2011」"幸せトイシ" 4月18日午前1時ごろ放送

昨年よりyabの記者が佐伯さんに同行取材した番組が、放送決定！！

撮影ツアータイ旅行レポート

シャンティ学生寮



春休み中で、寮に残っている学生は、少なかったのですが、民族衣装での伝統民族舞踊を披露してくれました。

日本の絵本を子供たちに。



セーンサイ村の幼稚園

ホイプム村



収穫後のとうもろこしの芯の山に果敢に取り組む後姿をパチリ。

4WDの荷台に揺られ、移動中。かなり、ハードです。



チェンマイ空港 現地スタッフのタナヤーと・・・お別れの記念撮影。

2011. 4. 5.

活動募金にご協力をお願いします。ー

2011.04.5saeki